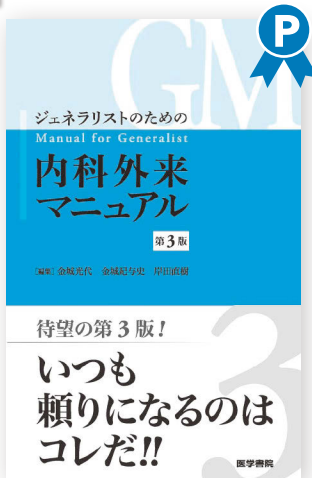


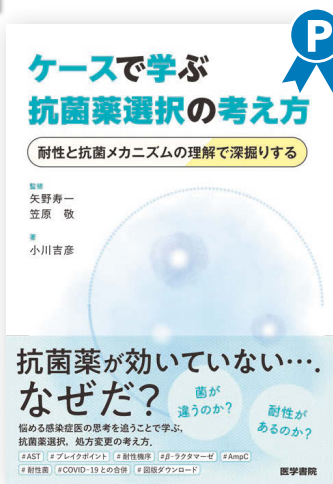


ジェネラリストのための内科外来マニュアル 第3版

金城光代、金城紀与史、岸田直樹＝編

定価 6,600 円／A5 変判・880 頁／医学書院／2023

内科外来のトップマニュアルとして不動の地位を得た書籍に待望の第3版が登場した。6年ぶりの今改訂では、診療情報をアップデートすると同時に、手薄だった主訴・症候についても大幅に記載を増やし、さらに網羅性を高めた。目の前にいる患者への診断アプローチ、鑑別疾患から具体的な処方例までを一覧できる、さらにパワーアップしたスーパーマニュアルが誕生した。



ケースで学ぶ抗菌薬選択の考え方

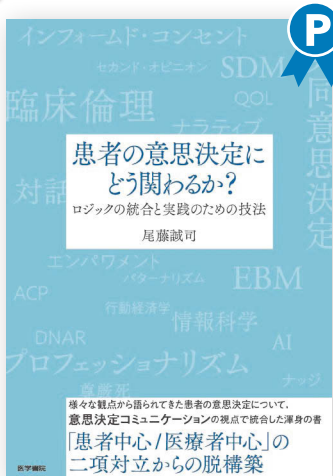
耐性と抗菌メカニズムの理解で深掘りする

矢野寿一、笠原 敬＝監修

小川吉彦＝著

定価 6,380 円／B5 判・328 頁／医学書院／2023

悩める感染症医の思考過程から、適切な抗菌薬選択の考え方を学ぼう！ 抗菌薬の適正使用に必要な、「抗菌」と「耐性」のメカニズムについて詳しく解説。症例編では、なかなか効果が発揮されない抗菌薬治療を見直し、菌の同定、耐性の状況などを探っていく過程から、適切な処方選択・変更の考え方を学ぶことができる。感染症診療・管理に携わる医師・臨床検査技師・薬剤師の知識のギャップを埋めるために役立つ1冊。



患者の意思決定にどう関わるか？

ロジックの統合と実践のための技法

尾藤誠司＝著

定価 4,180 円／A5 判・248 頁／医学書院／2023

意思決定の連続である医療職の仕事。臨床倫理、EBM、プロフェッショナルリズム、SDM（共同意思決定）、ナラティブなど、これまでさまざまな切り口で示されてきた理論をもとに、「患者にとって最善の意思決定」に専門家としてどのように考え、関わっていくかをまとめた渾身の書。AIの発展、新型コロナの流行など、社会が変わっていくなかで、これからの患者－医療者関係のあり方を示す1冊。さあ、意思決定のテーブルへ！